



うみかぜテラスと市民の皆さんが育てた宇宙朝顔

「NAOKO☆アサガオ」の種を配布します。



### 宇宙朝顔について

平成22年(2010年)に、宇宙飛行士の山崎直子さんと一緒に約9か月間宇宙に滞在したのが「NAOKO☆アサガオ」(宇宙朝顔)です。今回皆さんへお配りするのは、うみかぜテラスと市民の皆さんが育てた「NAOKO☆アサガオ」の10代目の種です。

### 宇宙朝顔の広がり

うみかぜテラスでお渡しした宇宙朝顔をご家庭等で育てていただき、種を回収する「種の里親制度」を一昨年から始めました。昨年は、うみかぜテラスで収穫した種の量よりも、自宅や保育園等で育ててお持ちいただいた種のほうが多くなりました。また、昨年は宇宙朝顔の種が鹿児島県や滋賀県にも届いています。



### 9代目 宇宙朝顔展

#### お手紙の紹介

「茅ヶ崎のおじいちゃんから種をもらった宇宙朝顔が戸塚でも咲きました」  
「2017年11月5日、滋賀県大津の幼稚園から飛ばした風船が我が家の門のところに着陸しました。その時からその子どもさん家族と交流しています。この度、はじめて宇宙朝顔のことを知り種を送りました。毎日咲いているようで写真を送ってきました。やっと、風船のお返しができるようでうれしい朝顔になりました」

今回は「NAOKO☆アサガオ」(宇宙朝顔)を全部で500袋ほど用意しました。1袋には20粒位の種が入っています。



宇宙へ思いをはせながら、個人で、ご家族で朝顔づくりに挑戦してみたいはいかがでしょうか。開花を楽しんだり、「緑のカーテン」を作ったりしながら地球環境問題についても是非考えてみてください。

「NAOKO☆アサガオ」は開花の時期が遅く、咲く花の数が少ないのが特徴です。また、発芽や開花がない種があるかもしれません。ご容赦ください。

今年も『私の宇宙朝顔自慢』をお配りしています。朝顔のイラストやコメントの記入、写真等を添付のうえ、10月1日(火)までに「うみかぜテラス」へお持ちください。10月に館内で作品展示の予定です。多数のご応募をお待ちしています。

## 朝顔の栽培方法

うみかぜテラスの花壇でボランティア作業をしてくださっている方々のアドバイスで朝顔栽培の方法をまとめました。

- 準備：肥料(化成肥料等)を施して、花壇やプランターの土づくりをしてください。
- 種まきの時期：4～5月
- 種まき準備：一晩水につけたり、種に傷をつけてから種まきすると芽が出やすいです。
- 種まき：3cm程の深さに種まきをしてください。
- 水やり：土が乾かないように、日中気温が上がる前に水やりをしてください。
- 茎の切断：葉が出て5段程になったら茎を切ると横芽が伸びます。切らないで、そのまま1本で伸ばしてもよいです。
- 支柱：成長したら、つるがまきつけるように支柱を立ててください。

土井隆雄さんと野口聡一さんは茅ヶ崎市ゆかりの宇宙飛行士で、茅ヶ崎市民栄誉賞受賞者です。野口さんが2005年にスペースシャトルで初めて宇宙空間に飛び出し、船外活動も行った後に地球へ帰還した8月9日を、茅ヶ崎市では「ちがさき宇宙記念日」としています。

茅ヶ崎公園体験学習センター(うみかぜテラス)

電話 0467-85-0942

